



ぞうぐみだより

2022年度9月号

尚徳福祉会生麦保育園

まだまだ暑い日が続いていますが、暦の上ではもう秋を迎えましたね。保育室内にあるカレンダーを見て「もうすぐ運動会だ」「運動会が終わったら遠足だよ」と行事を楽しみにしている子どもたちです。

子どものようす

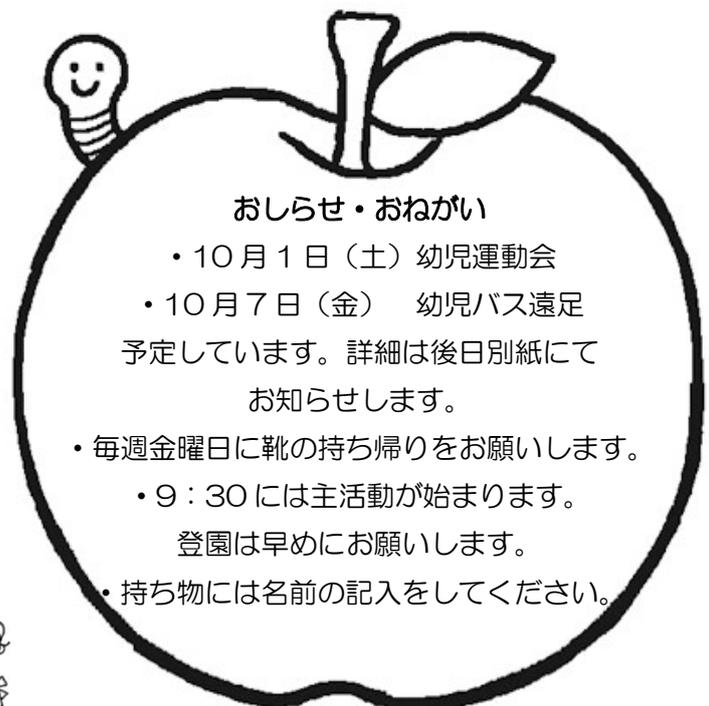
普段の何気ない遊びや生活のなかでおもしろい会話が多いそう組。最近子ども同士のトラブル時も、必要以上に仲立ちせず遠くから様子を見守っているのですが「もうどうすればいいの」「これじゃずっといやな気持ちのままだよ」「〇〇くんはどうしたいの？」と、トラブルを知った周りの子たちが協力して解決しようとする会話も聞こえるようになりました。気が付くと、トラブルがあったことが嘘のように笑って楽しそうに遊んでいて驚くこともあります。これからも自分たちで話し合い、相手の気持ちに気付こうとする姿勢を大切にしてほしいと思っています。

運動会へ向けて

4月から「運動会」や「おたのしみ会」について子どもたちと話す機会が多くありました。保育園生活最後の運動会、昨年度のそう組に憧れていた気持ちもあるのか「バルーンやってみたい」と言う子が多く、今年のそう組もパラバルーンに挑戦することにしました。曲決めから、子どもたちと曲を一緒に探したり、技を調べたりして少しずつ練習しています。リレーも5月頃から遊びの中に取り入れてきました。はじめは列も崩れ、互いに違うチームにバトンを渡してしまうこともありましたが、今では次の子の名前を呼びながらバトンを渡せるようになり、毎回盛り上がっています。バンブーは、保育者の音に合わせて一緒に手拍子をするところから始めました。保育室内の床に線を引くと、口ずさみながらバンブーを練習している子どもたちです。7月8月と少しずつ運動会に向けて取り組んできましたが、残り約1ヵ月。子どもたちのやる気を大切にしながら、楽しんでいきたいです。

たのしかった水遊び

「プールサイドは走らないこと」「入る時はしゃがんで入ること」と2つの約束をしました。水鉄砲を使って遊ぶ子や、キラキラのビーズをままごのようにして遊ぶ子など一人一人自由に遊ぶ姿が印象的で、保育者との水の掛け合いも毎回大盛り上がりでした。プール内の玩具をみんなで片付けた後は「けのび」対決をし、全身で楽しみました。プール後のシャワーや体拭きでは、外や他の人に裸を見られないようにということを練習しました。タオルで体を隠して入室し、服をすぐに着るなど、どろんこ遊びを始めた頃よりも意識している姿に成長を感じました。これからも水に対して恐怖心を抱かず、約束事を守り楽しんでほしいと思います。



おしらせ・おねがい

- ・10月1日(土) 幼児運動会
- ・10月7日(金) 幼児バス遠足
予定しています。詳細は後日別紙にてお知らせします。
- ・毎週金曜日に靴の持ち帰りをお願いします。
- ・9:30には主活動が始まります。
登園は早めをお願いします。
- ・持ち物には名前の記入をしてください。